

1. センター長挨拶

原虫病研究センター長 鈴木 宏志

私どもの研究センターは、原虫病に関する総合的研究を行い、我が国のみならず、アジア、アフリカ、南米などの開発途上国との学術国際協力により、動物資源としての畜産の振興と人類の健康と福祉の維持・向上に学術的貢献を果たすことの目的に平成2年度に設立されました。以来、我が国の獣医・畜産系大学では唯一の原虫病に関する研究拠点として、学内外の研究者との共同研究を積極的に推進して参りました。これらの活動を通じた最近の動きとしては、平成19年の国際獣疫事務所(OIE)のリファレンスラボラトリーとしての認定、翌20年の同じくOIEのコラボレーティングセンターとしての認定、および平成21年に文部科学省から「原虫病制圧に向けた国際的共同拠点」として共同利用・共同研究拠点到認定されたことが挙げられます。

また、当センターの特徴のひとつとしては、平成7年から国際協力機構(JICA)と共同で継続的に実施している開発途上国の研究者・技術者を対象とした11カ月間の上級専門家育成トレーニングコースが挙げられますが、このトレーニングコースの修了生が200名近くに達したことを契機に、平成24年度から本トレーニングコース修了者を対象に共同研究員として6～12カ月間雇用するプログラムを開始致しました。これは、当センターで教育・研修を受け、本国に戻った研究者・技術者からの研究提案を受けて共同研究員としての雇用の採否を決する形で実施しており、人材育成はもとより、本国では実行が困難な研究テーマの芽を育成、推進を具現化する新規の共同研究プログラムとしても注目される所です。また、平成24年度には、女性教員およびテニユアトラック教員をそれぞれ1名ずつ採用して研究基盤の拡大を図るとともに、(株)白寿生科学研究所の寄付講座を開設するなど産学連携にも努めてきたところで、今後とも関係の皆様からのご批判、ご提言を賜り、当センターの研究体制の改善、向上、および研究の発展のために努めていく所存でございます。年報の発行にあたり、今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますよう心からお願い申し上げます。

2. 沿革

I. 原虫病細胞免疫研究室(1983-1990)

1984年4月 特別施設として「原虫病細胞免疫研究室」が家畜生理学講座
(鈴木 直義 教授)内に新設(原虫病研究センターの前身)

II. 原虫病分子免疫研究センター(1990-2000)

1990年6月 文部省令による学内共同教育研究施設(2000年3月31日までの
時限施設)として原虫病分子免疫研究センター設置
分子免疫学分野新設
1992年4月 細胞病態生理学分野(客員研究分野)新設
1993年6月 研究棟新設(462 m²)、特殊実験動物室(P1~P3安全基準完備
室)、原虫株大規模凍結保存室設置
1995年4月 耐病性遺伝子工学分野新設
1997年4月 節足動物衛生工学分野新設
1997年11月 研究棟増設(970 m²)

III. 原虫病研究センター(2000~現在)

2000年4月 全国共同利用施設原虫病研究センター設立。
先端予防治療学分野と高度診断学分野の新設
2002年3月 研究棟増設(1,730 m²)
2002年10月 「21世紀COEプログラム」に選定
2003年4月 特定疾病分野、食品有害微生物分野、大動物巡回臨床分野の新設
2005年4月 進化生物学分野、遺伝生化学分野、国際獣疫学分野の新設
2006年3月 研究棟増設(1,520 m²)
2007年6月 OIE(国際獣疫事務局)リファレンスラボラトリー
(ウシバベシア病およびウマピロプラズマ病:五十嵐 郁男、スーラ
病:井上 昇)に認定
2008年5月 OIE コラボレーティングセンターに認定(原虫病分野では世界初)
2009年6月 共同利用・共同研究拠点
「原虫病制圧に向けた国際的共同研究拠点」に選定
2012年11月 寄付講座「生命平衡科学講座(白寿)」を開設
2013年3月 地球規模感染症学分野の新設

3. 歴代センター長

原虫病細胞免疫研究室(家畜生理学講座内)

1984年4月～1990年5月	鈴木直義 教授
-----------------	---------

原虫病分子免疫研究センター(学内共同利用施設・2000年3月までの時限付)

1990年6月～1995年3月	鈴木直義 教授
1995年4月～1996年3月	斎藤篤志 教授
1996年4月～1998年3月	豊田裕 教授
1998年4月～2001年3月	見上彪 教授

原虫病研究センター(全国共同利用施設・2010年3月までの時限付)

2001年4月～2002年1月	長澤秀行 教授
2002年2月～2010年3月	五十嵐郁男 教授

原虫病研究センター

(共同利用・共同研究拠点「原虫病制圧に向けた国際的共同研究拠点」)

2010年4月～現在	鈴木宏志 教授
------------	---------

4. 原虫病研究センターの意義

原虫病研究センターは我国の獣医・畜産系大学で唯一の家畜原虫病に関する研究拠点として、大学ならびに他省庁との研究連携により、人獣共通感染症としての原虫病の制圧と、家畜生産性向上による蛋白質資源の確保に努め、我国はもちろん、世界人類の健康福祉に学術的貢献をなし得る原虫病に関する総合研究を行うことを目標としている。

生命科学研究の重要性が高まるなか、世界の死亡者の3分の1は原虫病をはじめとする感染症によるものであり、診断・予防・治療法の確立による感染症対策が重要かつ緊急課題として世界先進国首脳会議等で議論されている。また、世界食糧サミットで提唱されているように、飢餓・栄養不良の撲滅と食料安全保障の観点からも、原虫病研究の推進による家畜生産性の向上は世界の重要課題である。本センターは、これまで、原虫病に関する総合研究をおこない、動物資源としての畜産の振興と人類の健康福祉に貢献する国際的業績を挙げてきた。このような社会的背景およびこれまでの基礎研究成果を基盤とした応用開発研究を推進し、社会貢献する。

本センターは海外との学術国際協力を重視し、すでにドイツとは長く国際共同研究をおこない、隔年毎に両国で開催される日独原虫病シンポジウムおよび同シンポジウム開催の母体である日独原虫病協会において中心的役割を果たしている。これまでに欧米および開発途上国から本センター（および前身の研究室）に500名以上の研究者が短期間あるいは長期間本センターに滞在し、教育研究に参画した。学術の国際協力の面から本センターにおける日本人および外国人研究者受入れによる相互の研究協力は極めて重要な意義を持ち、とくに研究の場を介する国内外の若手研究者および学生の高度人材育成は本センター設立の基本概念に合致している。

5. 組織および構成員

センター長 鈴木 宏志

感染免疫研究部門

節足動物衛生工学分野

教授 井上 昇

准教授 福本 晋也

生体防御学分野

教授 玄 学南

准教授 西川 義文

ゲノム機能学分野

教授 鈴木 宏志

助教 白藤 梨可

診断治療研究部門

高度診断学分野

教授 五十嵐 郁男

教授 横山 直明

先端予防治療学分野

教授 河津 信一郎

教授 井上 昇(兼任)

感染病理学分野

准教授 五十嵐 慎

国際連携協力部門

地球規模感染症学分野

特任准教授 加藤 健太郎

国際監視学分野

教授 五十嵐 郁男(兼任)

教授 井上 昇(兼任)

国際獣疫学分野

特任研究員 Project Researcher Dr. Maria Shirley HERBAS

特任研究員 Project Researcher Dr. Muller COMPAORE

特任研究員 Project Researcher Dr. Athanase BADOLO

客員教授

北 潔	東京大学大学院医学系研究科教授
杉本 千尋	北海道大学人獣共通感染症リサーチセンター教授
辻 尚利	(独)農業・食品産業技術総合研究機構 動物衛生研究所主任研究員
藤崎 幸藏	(独)農業・食品産業技術総合研究機構フェロー
嘉糠 洋陸	東京慈恵会医科大学医学部教授

特任研究員	岡田只土、林田京子、正谷達膳
技術専門職員	幅口 剛
技術補佐員	進藤 愛
事務補佐員	成田真琴

平成24年度・共同研究員(五十音順・敬称略)

筏井 宏実	北里大学獣医学部講師
池原 譲	(独)産業技術総合研究所 糖鎖医工学研究センターチーム長
猪熊 壽	帯広畜産大学臨床獣医学研究部門教授
今井 壮一	日本獣医生命科学大学獣医学部教授
岩倉 洋一郎	東京理科大学生命科学研究所実験動物学研究部門教授
小野 憲一郎	日本動物高度医療センター学術部門長
乙黒 一彦	北里大学北里生命科学研究所熱帯病評価センター長
小山田 隆	北里大学獣医学部教授
片倉 賢	北海道大学大学院獣医学研究科教授
川合 寛	獨協医科大学医学部准教授
小島 直也	東海大学糖鎖科学研究所教授
後藤 康之	東京大学大学院農学生命科学研究科准教授
小原 潤子	北海道立総合研究機構畜産試験場研究主査
斎藤 あつ子	兵庫医療大学薬学部教授
齋藤 篤志	帯広畜産大学名誉教授
櫻井 達也	北海道大学大学院獣医学研究科助教
七里 元督	(独)産業技術総合研究所健康工学研究部門研究員
白砂 孔明	自治医科大学分子病態治療研究センター助教
鈴木 穰	東京大学大学院新領域創成科学研究科准教授
高島 康弘	岐阜大学応用生物科学部准教授
田仲 哲也	鹿児島大学共同獣医学部准教授

豊田 裕	帯広畜産大学名誉教授
永宗 喜三郎	国立感染症研究所寄生動物部室長
原島 秀吉	北海道大学大学院薬学研究院教授
平田 晴之	酪農学園大学獣医学部准教授
藤崎 幸藏	(独)農業・食品産業技術総合研究機構フェロー
松尾 智英	鹿児島大学農学部・共同獣医学部准教授
見上 彪	東京大学名誉教授
三田村 俊秀	東京大学大学院医学系研究科客員研究員
横山 峯介	新潟大学脳研究所教授
吉田 栄人	金沢大学医薬保健研究域薬学系教授
度会 雅久	山口大学大学院連合獣医学研究科教授
Sathaporn, J.	Kasetsart University, Assoc. Prof.
Stefan, K.	Loyola University Chicago, Assist. Prof.
Carlos E. S.	USDA, Research Molecular Biologist
Kiew-Lian, W	Kebangsaan Universiti, Prof.